

## 【防災情報】北上川ダム統合管理事務所 降雨に伴うダム防災情報 (第5報) ～ダムの効果について～

7月15日からの梅雨前線による降雨で、四十四田ダム及び御所ダムにおいて洪水貯留を行い、四十四田ダムでは約180万m<sup>3</sup>の水を貯め込み、下流河川の水位上昇抑制に効果を発揮しました。

北上川ダム統合管理事務所では、防災操作が終了したことから、7月16日12時30分に、洪水対策体制を「警戒体制」から「注意体制」に移行しました。

### ○四十四田ダムの洪水貯留効果について

今回の出水で、四十四田ダムで貯めた水の量は約180万m<sup>3</sup>となります。  
ダム下流の館坂橋地点で約0.2mの水位上昇が抑制されたと推定されます。  
ダムに流れ込んでくる**流木を捕捉**し、下流域に流れることを防ぎました。  
(北上川ダム統合管理事務所の計算による速報値)

	流域平均 累加雨量 ※1	最大流入量 発生日時	最大流入量 ※2	最大流下量 ※3	調節量 ※4	貯め込んだ 水の総量
四十四田ダム	68 mm	7月16日 11:00	478 m <sup>3</sup> /s	395 m <sup>3</sup> /s	83 m <sup>3</sup> /s	180万 m <sup>3</sup>

※1 流域平均累加雨量：降り始めから最大流入量を記録する直前(7/16,13:00)までの速報値

※2 最大流入量：ダムに流れ込んだ水量の最大値

※3 最大流下量：ダムから下流へ流した水量の最大値

※4 調節量：最大流入量と最大放流時との差

四十四田ダムに貯めた水の量は、他の施設の容量に単純換算すると以下のとおりとなります。

・岩手県庁に貯めた場合：約22杯分に相当(岩手県庁の容積8万5千m<sup>3</sup>)

※ダムに関する情報につきましては、当事務所のホームページでご覧頂けます。

ホームページ URL <http://www.thr.mlit.go.jp/kitakato/>

発表記者会：岩手県政記者クラブ

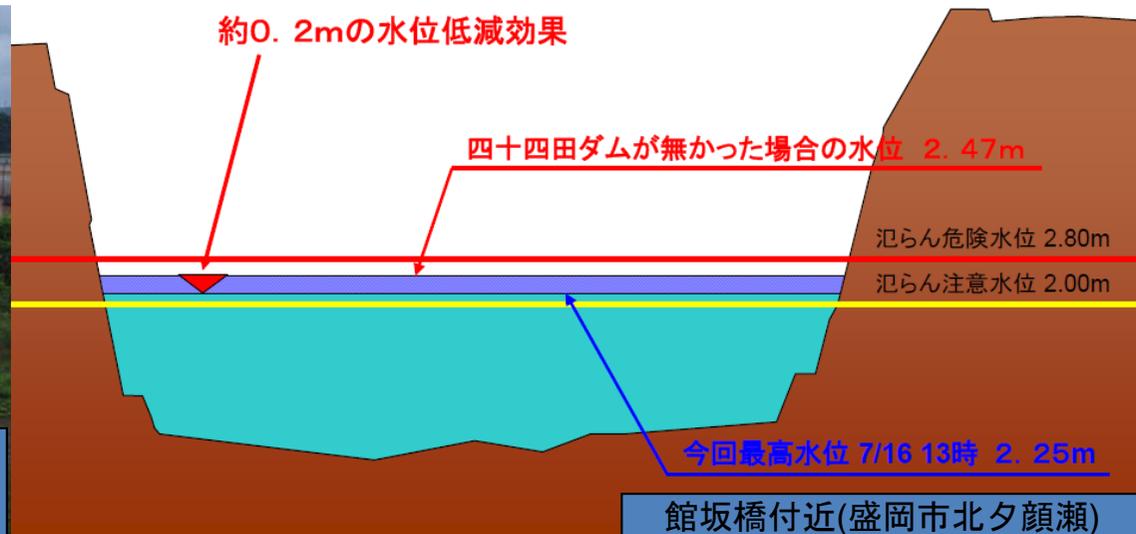
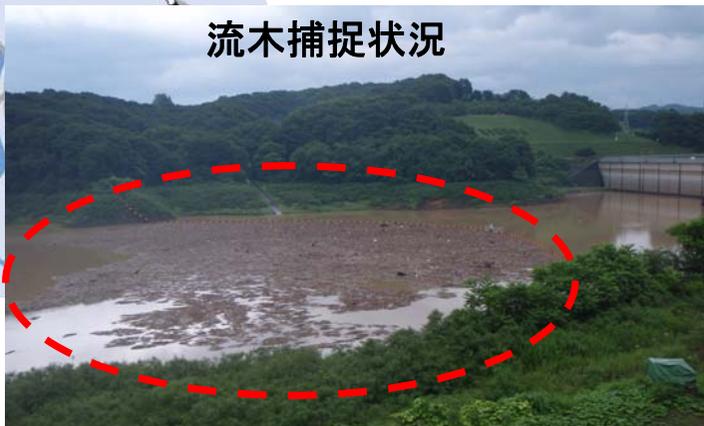
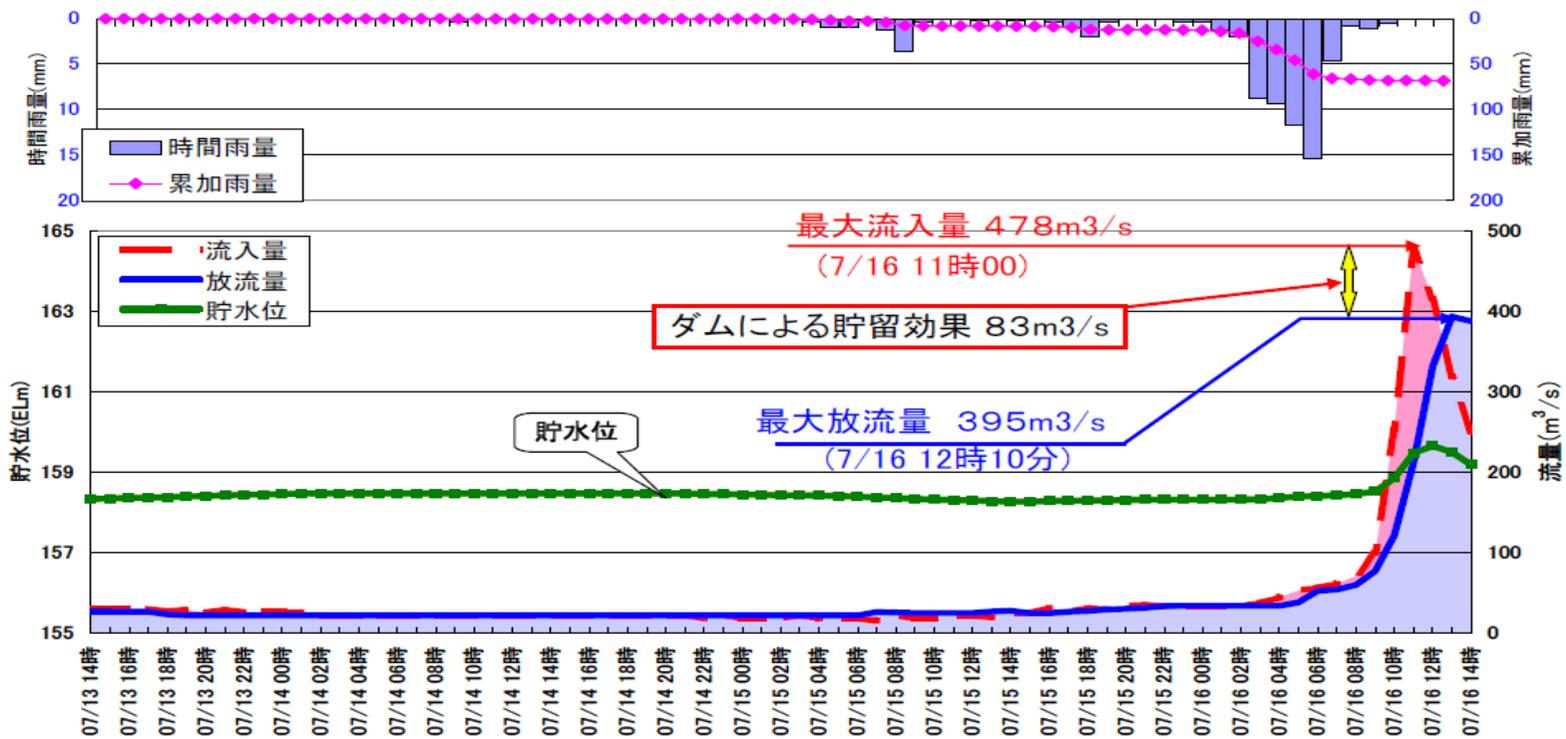
問い合わせ先

国土交通省 北上川ダム統合管理事務所  
副所長（技術） 尾形 清  
管理第一課長 中島 勇一郎  
TEL 019-643-7831（代表）

# 北上川水系 四十四田ダムの効果（平成24年7月15日 梅雨前線）

○今回の洪水期間中において、最大約180万m<sup>3</sup>（岩手県庁約22杯分）の水を貯留し、下流の洪水被害の軽減を図った。  
 ○ダム下流の館坂橋地点（盛岡市北夕顔瀬付近）では、約0.2mの水位を低減させる効果があったものと推測。

館坂橋地点の水位（7/16 13時）  
 ダム調節後 : 2.25m  
 ダムが無い場合 : 2.47m  
 →約0.2mの水位低減



ダムに流れ込んでくる流木を捕捉し、下流域に流れることを防ぎました。

館坂橋付近(盛岡市北夕顔瀬)